

製品名: リン酸化 UBF1 (S484) (12P4) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe06044

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	89kDa

抗原情報

遺伝子名	UBTF
別名	Histone H3;
遺伝子 ID	7343.0
SwissProt ID	P17480
免疫原	ヒト UBF1 の合成ペプチド

背景

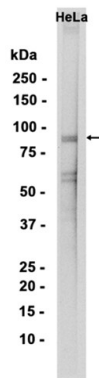
ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として用いる細胞機構への DNA のア

クセスを制限します。ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定化において中心的な役割を果たします。リボソーム RNA 遺伝子プロモーターを認識し、転写因子 SL1/TIF-IB 複合体との協調的相互作用を介して RNA ポリメラーゼ I を介した転写を活性化します。ヒストンは上流の制御エレメントに特異的に結合します。

研究分野

-

画像データ



ホスホ UBF1 (S484) (12P4) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。